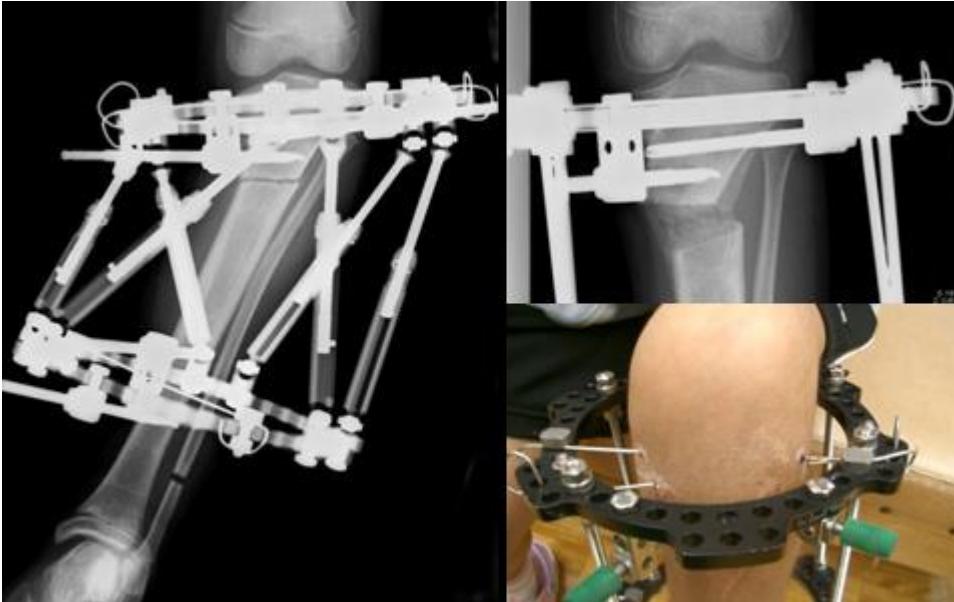


外傷

当院では、上下肢の骨折を中心に、外傷に対する手術治療を行っています。

大腿骨頸部骨折などの高齢者の外傷では、重篤な基礎疾患を持っておられる方が多く、当院内科をはじめ麻酔科・集中治療部、循環器内科、精神神経科、リハビリテーション科などの協力をいただき、安全に手術が行えるようにしています。また、元の日常生活レベルへの復帰を目指して、早期手術を積極的に行い、翌日よりリハビリを行っています。しかし、手術を行っても、その後のリハビリを経て日常生活に復帰するには、それ相応の時間がかかります。手術後の状態が落ち着けば、回復期／療養型病院に転院して集中的なリハビリを受けていただくよう、大阪赤十字病院地域連携クリニカルパスを実施しています。

小児の骨は、大人のものよりも柔らかく（未成熟で成長過程にある）、骨が形成される骨端線（成長軟骨）があり、大人とは違う構造をもっています。そのため骨折も、完全に折れないでしなった状態になる若木骨折や、成長軟骨部で折れる骨端線離開など、小児特有のものが多く含まれます。手術的治療が必要と思われる症例は、待機して手術をするのではなく、骨折部の腫脹が強くなる前にできるだけ早期に手術加療を行うことで、神経障害などの合併症を減らし、速やかに疼痛コントロールを行い、早期日常生活への復帰を目指しています。当院では、麻酔科・集中治療部の協力のもと積極的に小児外傷の救急受け入れを行っています。



Taylor Spatial Frame（テイラー・スペイシャル・フレイム）という創外固定による変形矯正